

[付録1] 自然文化誌研究会が担当した雑穀関連シンポジウム・研究会の小史

Appendix 1: A Short History of Millet Research Meetings conducted by Institute of Natural and Cultural History

自然文化誌研究会は創立当初から、雑穀に関するフィールド調査研究を主な課題の一つにしてきた。雑穀研究会の創立と事務局を担当したため、『雑穀研究』の発行、雑穀関連シンポジウム・研究会などの開催を何度か担当してきたので、記録しておく。独自の雑穀栽培講習会などは改めて個別に記録する。

●.....●
第1回 雑穀研究会シンポジウム

期日：1988年2月4日～5日
会場：つくば市
発表題目（発表者）：岩手県における雑穀の栽培（佐藤佳岳、東京学芸大学）／南西諸島の雑穀栽培（竹井恵美子、大阪学院大学）／ユーラシアにおけるアワの遺伝的分化（河瀬真琴、農水省生物資源研究所）

●.....●
第3回 雑穀研究会シンポジウム

期日：1989年11月22日～23日
会場：山梨県上野原町
発表題目（発表者）：関東山地の雑穀について（木俣美樹男、東京学芸大学）／インド亜大陸の雑穀調査の概要（阪本寧男、京都大学）／長寿村の食生活（古守豊甫、古守病院）／シコクビエといもち病の起源（加藤肇、農水省農研センター）／遺跡出土雑穀種子について（松谷暁子、東京大学）／プラントオパール分析による古代のイネ科植生について（外山秀一、山梨県文化財研究所）（降矢静夫、西原農家）

●.....●
第6回 雑穀研究会シンポジウム

期日：1992年11月28日
会場：東京学芸大学
発表題目（発表者）：偽禾穀類アマランサス・

キノアの紹介（富永達、信州大学）／シコクビエの生育と利用、岩手県の雑穀と食生活について（大野康雄、岩手県立農業短期大学校）／ワイルドライスとネイティヴ・ピープルとのかかわり（和田富吉、名古屋大学）／キビの栽培・加工・調理について（多田正純、房総萬花園）

●.....●
家庭栄養研究会・雑穀シンポジウム

期日：1992年11月29日
会場：東京学芸大学
内容（発表者）：世界の雑穀とその食文化（阪本寧男、京都大学）／長寿村の食生活調査から見た雑穀（古守豊甫、古守病院）
分科会：生産・流通、栄養・健康、料理・食文化
*雑穀標本・料理、村の紹介

●.....●
第9回 雑穀研究会シンポジウム

期日：1995年9月15日～17日
会場：北海道平取町二風谷
発表題目（発表者）：アイヌと雑穀（萱野茂、参議院議員）／アイヌの農耕文化と雑穀（吉崎昌一、北海道大学）／北タイ山地民の雑穀（落合雪野、京都大学）／アハーヤブが生んだマメ（井上直人、信州大学）／ヒエの精白法（大野康雄、岩手県立農業短期大学校）／現代子に受け入れられる雑穀料理（大谷ゆみこ、未来食アトリエ・風）
*二風谷アイヌ文化博物館、シシリムカ二風谷アイヌ資料館など見学

●.....●
第14回 雑穀研究会シンポジウム

期日：2000年10月27日～28日
会場：群馬県六合村
発表題目（発表者）：六合村の雑穀について（叶田真規子、東京学芸大学）／ソバのアミロース

含量の地理的変異 (井上直人・中田美穂、信州大学) / *Paspalum scrobiculatum* L. の栽培化過程における形質変化について (石川裕子・木俣美樹男、東京学芸大学) / 転換畑の青刈りヒエ導入の農家事例調査 (大野康雄・畠山貞雄、佐藤政行種苗育種研究所・岩手県種苗センター) / 東南アジア大陸部における雑穀栽培と利用—ラオスの現地調査から (落合雪野) / ネパールのチェンパン族によるアマランサスの利用 (根本和洋、信州大学) / 系統保存雑穀のデータベース作成 (1) キビについて (木俣美樹男、東京学芸大学)

●.....●

第2回 雑穀研究会春の勉強会

期日：2002年4月27日
 会場：東京学芸大学
 発表題目(発表者)：雑穀に関するイントロダクション (落合雪野、鹿児島大学) / ラオスの風土と人々の暮らし (虫明悦生、京都大学) / ラオス北部山地の焼畑農耕 (縄田栄治、京都大学)

●.....●

第16回 雑穀研究会シンポジウム

期日：2002年9月27日～29日
 会場：山梨県小菅村
 発表題目(発表者)：山梨県丹波山村の雑穀栽培 (石川裕子、京都大学) / 山梨県小菅村の雑穀 (井村礼恵、多摩川源流研究所) / 山梨県上野原町の雑穀 (井上典昭、都留高校) / 南インドにおけるコラリのサマイおよびコドラへの擬態と混作 (木俣美樹男、東京学芸大学) / 機械収穫用ヒエ品種「ダルマ」(大野康雄、佐藤政行種苗育種研究所) / インドネシア、スラヤル島の雑穀栽培 (竹井恵美子、大阪学院短期大学) / 五穀の語り—雑穀の伝承について—『雑穀の社会史』以後の問題意識 (増田昭子、立教大学) / 最近の雑穀栽培の概況 (井上斎、農林水産技術情報協会)

●.....●

第8回 雑穀研究会 春の勉強会

期日：2008年5月17日
 会場：東京学芸大学 環境教育実践施設
 テーマ：考古学における雑穀研究の現状

会長挨拶：竹井恵美子 (大阪学院短期大学)
 趣旨説明・司会：安孫子昭二 (大成エンジニアリングK.K.)

発表題目(発表者)：フローテーションによる雑穀の抽出 (黒尾和久、あきる野市前原遺跡調査会) / レプリカ法による種子鑑定 (丑野毅、東京国際大学) / 縄文時代のマメ利用 (中山誠二、山梨県立博物館) / 縄文時代のイネ科雑穀の利用 (高瀬克範、明治大学文学部) / 弥生～古墳時代の雑穀研究の現状 (浜田晋介、川崎市市民ミュージアム) / 全体討議

●.....●

第26回 雑穀研究会シンポジウム

期日：2012年9月1日～3日
 会場：山梨県小菅村「人々と植物の博物館」
 内容(発表者)：植物と人々の博物館の展示解説 (木俣美樹男、植物と人々の博物館) / エコミュージアム日本村と雑穀 (黒澤友彦・井村礼恵 (自然文化誌研究会) / 植物と人々の博物館) / 小菅村小永田地区神代神楽の見学 / インド亜大陸起源の雑穀の栽培化過程と伝播 (木俣美樹男、東京学芸大学) / 南アルプス周辺山村の雑穀栽培 (川上香、江戸東京博物館) / 植物考古学から見た中部日本のアワ・キビ農耕の開始 (中山誠二、山梨県立博物館) / 雑穀と備荒貯蓄—郷倉について (増田昭子、立教大学) / レプリカ法による縄文時代晩期末土器のアワ・キビ圧痕の評価について (中沢道彦、長野県考古学会) / ウガンダにおける陸稲ネリカと在来作物の土地利用に関する実証試験 (倉内伸幸、日本大学) / 小菅村のコンニャク畑の見学 (木下新造、コンニャク栽培者) / アカモロ(モロコシ)のニギリダンゴと豆粉調理見学および試食 (守屋秋子、植物と人々の博物館) / 雑穀栽培見本園の解説 (黒澤友彦、自然文化誌研究会) / 丹波山村の篤農家の話 (岡部良雄・セツ子夫婦、植物と人々の博物館) / 小菅村の古老の今昔物語 (木下善晴、植物と人々の博物館長) / 上野原市西原の雑穀栽培 (中川智) / 上野原市桐原の長寿館 (長寿食)